

令和3年度 十勝川中流部市民協働会議 活動記録 (2)

十勝川相生中島上流湿地における再樹林化防止のための土砂掘削他

日 時	令和3年5月20日(木)～ 5月22日(土)
場 所	十勝川相生中島上流湿地
目 的	相生中島上流湿地は、十勝川の流下断面確保と再樹林化防止を目的に、平成24～25年度に掘削されたことにより形成されました。 平成28年8月の台風によって湿地の大半が土砂に覆われ、水域も半分程度に減少しました。この活動は、半減した水域環境拡大と湿地環境維持を目的に行われ、今回で5回目となります。
内 容	1. ガマ生育面積拡大のための水際掘削 • 湿地下流部のガマ生育地付近の水際を水深が30～50cm程度になるよう掘削(約600m²) 2. ヤナギ実生及び幼木の覆土処理 • ガマ生育面積拡大の作業により発生した土砂によるヤナギ実生への覆土(約600m²) • 中州に生育するヤナギ幼木への覆土(約2,700m²) 3. 外周路の整備 • 増水時に水没してしまう箇所への覆土

作業前



作業後



作業状況(5月20日～22日の作業)



ガマ生育面積拡大のための掘削



ヤナギ実生への覆土処理



ヤナギ幼木への覆土処理



ガマ生育範囲拡大のための掘削後



ヤナギ実生への覆土処理後



ヤナギ幼木への覆土処理